

家原寺配水場配水池の更新工事完了に伴い 全面運用を開始します

堺市上下水道局では、家原寺配水場配水池[※]の老朽化に伴い耐震性能を強化するため令和 2 年度から更新工事を実施し、令和 5 年度には北側配水池が完成しました。

このたび、南側配水池も完成したため、6 月 24 日（水）から全面運用を開始します。

同配水池の更新によって、大規模災害時における応急給水拠点としての機能拡充に加え、地震に強い構造の施設としました。また、劣化しにくいステンレス製へ構造の材質を変更することにより、将来的なコストを含めたメンテナンス費用の削減等に取り組みます。

今後も、市民の皆様へ安全で安心な水道水を安定的にお届けするため、老朽化対策を通じて耐震化や施設の機能強化を図り、災害にも強い強靱な水道施設を整備します。

※水の需要量に応じて適切な配水を行うため、水道水を一時的に貯える施設。

1 運用開始日

令和 8 年 6 月 24 日（水）

2 更新内容

貯水容量の ダウンサイジング	工事前は 3 か所あった配水池（計 29,000 m ³ （8,000 m ³ +8,000 m ³ +13,000 m ³ ））を、給水区域の再編や利用者の節水意識の高まり等による給水量減少を見込み、2 か所の配水池（計 16,000 m ³ （8,000 m ³ +8,000 m ³ ））へとダウンサイジングを図りました。
応急給水拠点 としての機能拡充	大規模災害発生時には、更新工事で耐震化された 2 か所の配水池のうち 1 か所の配水機能を緊急遮断し貯水することで、災害拠点病院や避難所等へ給水車で応急給水活動を行う拠点となり、当該配水池では約 70,000 人が 8 日間使用できる量の水道水を賄うことが可能です。 また、同施設整備に合わせて災害時に応急的に給水を行う給水栓を 2 基から 4 基に増強する等、応急給水拠点としての機能を拡充しました。
材質変更	水道水を一時的に貯めておく配水池をコンクリート製から劣化しにくいステンレス製へ更新することにより、補修等のメンテナンス費用が年換算で 19,000,000 円近く削減できる見込みです。

※更新工事完了に伴い、本市における配水池全体の耐震化率は、53.8%から 58.2%に向上しました。



家原寺配水場（左が北側配水池、右が南側配水池）



（工事前）コンクリート製配水池



（工事後）ステンレス製配水池



（工事前）応急給水栓 2 基



（工事後）応急給水栓 4 基の内の 2 基

3 工事概要

名称	家原寺配水場配水池更新工事
所在地	堺市西区家原寺町 2-21-1
期間	令和 3 年 3 月～令和 8 年 6 月
概要	事業費約 3,800,000,000 円 ・北側配水池（令和 6 年 1 月 30 日 運用開始済み） ・南側配水池（令和 8 年 6 月 24 日 運用開始）

問 い 合 わ せ 先	担 当 課：上下水道局 水道部 水運用管理課 電 話：072-275-1126 ファックス：072-271-1356
----------------------------	--